

「北海道建設産業支援プラン」の概要

建設業の現状と課題

《役割》

- 道民の生活基盤や産業活動を支える
- 地域の経済雇用を支える
- 地域の安全・安心に貢献する

《特性》

- 典型的な受注産業
- 人手のかかる労働集約型産業
- 元請・下請による重層的施工産業
- 屋外型現場移動産業
- 地域に密着した産業

《取り巻く現状》

- 建設投資の急激な減少
- 低価格入札による品質低下等への懸念
- 少子高齢化の進展等による担い手不足
- 談合事件の多発等による信用の失墜

《課題》

- 過剰供給構造の是正
- 優れた人材の確保・育成
- 競争力ある企業づくり
- 適切な元請・下請関係の構築
- 信頼の回復
- 公正な市場環境づくり

北海道建設産業支援プラン

(H20~H24の5力年間)

基本的な考え方

各企業の自助努力を基本に、建設業への支援に向けた改革の方向と道の取組方策を示す

【改革の方向】

- ◇意識の改革
- ◇経営の改革
- ◇人づくりの改革
- ◇施工体制の近代化

【道の取組】

各企業への支援

- ◇法令遵守
- ◇経営改革の促進
 - 建設業本業の強化
 - 経営力・技術力の向上支援、建設業経営効率化の促進
 - 地元中小建設業の受注機会の確保
 - 企業連携の促進への支援 など
 - 新分野進出
 - 他産業への参入支援
 - 人材育成・雇用創出への支援 など
- ◇優れた人材の確保・育成
 - 人材の確保・育成支援、就業環境改善 など
- ◇適切な元請・下請関係の構築

- ・円滑な資金繰り、融資の支援
- ・新分野進出の地域支援、販路開拓等への支援
- ・実践的な農業参入事例の紹介
- ・技術者・技能者への人材育成支援
- ・企業ニーズに対応した職業訓練 など

公正な市場環境づくり

- ダンピングの防止
- 透明で公正な競争の促進
- 不良・不適格業者の排除

緊急対策

道の「新たな収支対策」
(公共事業の縮減)

北海道建設業サポートセンターの設置

相談窓口の一元化による相談・支援体制の強化

活力ある建設業の再生